



2014科博NEWS展示

昭和天皇のヒドロ虫類 ご研究を通じた国際交流

— ルル博士に届けられた標本 —

講演会 自然史標本を通じた国際学术交流

日時：2014年11月22日(土) 13:00～15:00

会場：上野本館 日本館2階 講堂 定員：先着100名(当日受付)

講師：馬渡 駿介 北海道大学名誉教授

並河 洋 国立科学博物館 動物研究部 海生無脊椎動物研究グループ 研究主幹

2014年11月11日(火)～12月7日(日)

休館日：11月17日(月)・25日(火)、12月1日(月)

国立科学博物館 [東京・上野公園]

地球館3階 図書・情報室

開館時間：午前9時～午後5時 金曜日は午後8時まで *入館は閉館時刻の30分前まで
常設展示入館料のみでご覧いただけます。

一般・大学生 620円(団体310円) / 高校生以下および65歳以上無料 *団体は20名以上



国立科学博物館

National Museum of Nature and Science



ベルギーで、昭和天皇ご採集のヒドロ虫類標本が発見され、その一部が国立科学博物館に移管されることとなりました。

昭和天皇のヒドロ虫類ご研究

昭和天皇は、昭和4年ごろから約60年間、ご公務の合間に、相模湾などでご採集のヒドロ虫という海産動物をご研究になり、『相模湾産ヒドロ虫類』などのご著書を出版されました。

諸外国の研究者との国際交流

昭和天皇がご研究を始められた頃は日本に専門家がいなかったため、服部廣太郎博士*を介して諸外国のヒドロ虫類研究の専門家に標本を送られ、疑問点を解決されていました。依頼を受けた専門家は、標本研究の結果を報告するとともに、論文として発表しました。その中には新種の発見も含まれています。昭和天皇ご採集標本によりヒドロ虫類研究が進化したと言えるでしょう。

* 服部廣太郎博士(1875-1965)は、皇居内生物学御研究所の所長として、昭和天皇のご研究を支えました。

**ルル博士(Dr. Eugène Leloup 1902-1981)は、ベルギー王立自然史博物館において、ヒドロ虫類をはじめ海産無脊椎動物について分類学的研究を行いました。

ベルギー王立自然史博物館での標本の発見

最近、ベルギー王立自然史博物館で、70年以上前に服部博士からルル博士**に届けられたヒドロ虫類標本(液浸標本とプレパラート標本)が発見されました。昭和天皇ご研究標本は現在国立科学博物館に所蔵されていることから、今回発見の標本のうちプレパラート標本が当館に移管されることとなりました。

本News展示ではこの標本を中心に、昭和天皇がヒドロ虫類のご研究を通して国際交流をされた足跡を示す貴重な資料をご紹介します。



ルル博士が *Sertularia hattorii* Leloup, 1940 (ハットリウミカビ) を新種発表した時に研究したプレパラート標本

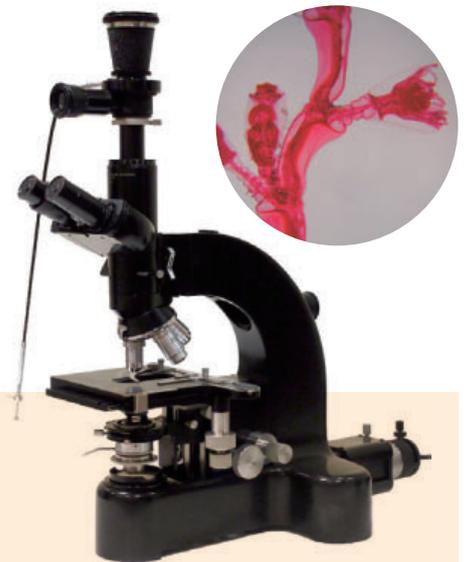
Sertularia hattorii Leloup, 1940 の液浸標本
この標本の一部がルル博士に送られました。
ラベルには *Tridentata hattorii* (Leloup, 1940) と記されています。



昭和天皇ご著書「相模湾産ヒドロ虫類」



岩礁に棲むヒドロ虫類オベリアの仲間



昭和天皇がヒドロ虫類ご研究で使われた顕微鏡

●ヒドロ虫は、クラゲやイソギンチャクの仲間ですが、その姿かたちは植物のようです。また、生活の様子が複雑であり、大変興味深い動物です。

●ヒドロ虫類を詳しく研究するためには、液浸標本の一部を切り取ってカーミンなどで染色したプレパラート標本をつくり、顕微鏡で観察します。